

後期恒例展 ①



第13回 児童・生徒によるものづくり展

10月19日(水)～11月13日(日)

県内には、高岡市のものづくり・デザイン科の取り組みをはじめ、伝統的、創作的な作品の製作に取り組んでいる学校が多く見られます。今年は、小・中・義務教育学校・特別支援学校・高等学校41校から209点の作品が展示されました。



- いろいろな市や村の人の作品を見る機会がないので、見ることができて良かったです。
- 地域の伝統工芸を小学校の時から体験できるのは、恵まれているし、素敵なことです。自分の町に魅力や誇りをもてます。どの作品も個性があり、とても素敵でした。



第53回 富山県造形教育作品展

11月19日(土)～12月4日(日)

幼児・児童・生徒らの感性豊かな作品が、67校(園含む)から271点集まり、展示されました。家族連れをはじめとして多数の来館者が、作品鑑賞を楽しみました。



- 造形教育が一番、想像力及び創造力等につながる。もっとこれらにける時間があればと願います。
- 学童での様子をかいた。子ども全員、学童の先生、皆のアイドルのカメ、バスもかいた。近くで見てほしいです。
- 県外から移住してきた。このような機会があるのはいいと思う。作品を見ていると、心が温まります。



第33回 富山県中学校美術展

1月20日(金)～2月5日(日)

県内の国公立77校の中学生が、日頃の学習や部活動で制作した絵画や造形作品196点が展示されました。中学生の若き感性が豊かに表現された作品は、多くの来場者を楽しませました。



- 一人一人の作品にはそれぞれの思いが表現されていて、素晴らしかったです。題名と合わせてみると、見方が変わって、より楽しく鑑賞できました。
- レベルが高く見応えがありました。こんな素敵な作品はもっと多くの人の目にふれてもいいのにと思いました。ワクワクしました。

退職厚生部富山支部作品展

10月2日(日)～10月8日(土)



- コロナの影響で3年ぶりの開催でした。作品に触れ、気持ちが明るくなりました。

